

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.15
H30. 7. 6

夏休みまで2週間となりました。今週は、台風の影響で雨が続いています。

今朝は、大雨警報が出ていることもあって、子どもたちの登校時、県警本部の方々が見回りしてくださっていました。ありがたいことです。来週は、着衣水泳を行う予定で、18日と19日は、個別懇談会を行います。よろしくお願いいたします。



◆今年度の行事および体験活動の変更について

平成32年度（31年度には元号が変わります）から新学習指導要領の全面実施になり、現在は移行期間になっています。今年度は、道徳が教科になり、学校ではさまざまな教育改革への対応が増えつつあります。32年度からの3・4年生の外国語活動35時間および5・6年生の外国語科70時間の導入につきましては、本市では来年度より取り組むことになっています。一方で職員の常態化している長時間の時間外労働の見直しも進められております。

本校においては、このような状況を踏まえまして、行事の見直しを進めてまいりました。その結果、PTA総会時にもお知らせしましたように、本年度は二つの変更についてご理解ご協力をお願いいたします。

1点目は、今年度「三泗陸上記録会」への参加を見送ることです。例年「三泗陸上記録会」には6年生の児童が出場してきました。練習は、運動会後すぐに始め、全職員体制で放課後に行ってきました。6年生は並行して、修学旅行の準備も行い、運動会以降、ずっと大変慌ただしい状況が続きます。また、会場の中央緑地公園への移動には安全面を考慮し、担任の他に引率者が必要です。記録会会場では係としての担当がさらに1名必要で、小規模校での「三泗陸上記録会」における人員確保は決して容易ではありません。

6年生の2学期は、運動会に始まり、三泗陸上記録会、今年度は中学校の文化祭への参加、修学旅行、三泗音楽会、人権フォーラムと続きます。充実はしているものの、全く余裕のない状況が続きます。新たな対応がどんどん増えてくる中で、毎年、同じように行っていくことはかなりの負担になります。子どもたちにとってはよい経験の場ではありますが、数年来の状況を踏まえて出した結論であることをご理解ください。なお、体力向上につきましては、日常の体育の時間や他の運動関係の行事や活動の中ですすめてまいります。

2点目は、毎年全学年で取り組んできた陶芸体験の縮小です。従来の陶芸体験では、形成して焼いていただくまでには、作品の運搬等、かなりの労力が必要でした。費用につきましても、PTAの方で多くの補助をいただいております。昨年度は、市の事業によって、ばんこの里会館でどの学年も体験することができ、費用もかかりませんでした。しかし、毎年、昨年度と同じように本校だけが対応していただくことはできません。

陶芸体験は、学年によって作品のテーマや仕上げは異なりますが、萬古焼の体験という点において違いはありませんので、今年度から回数を減らし、低学年と高学年で1回ずつ、6年間で2回の実施にさせていただきたいと思っております。実施学年は、3年と6年の2学年のみ

にします。(3年生は市内の全小学校が毎年無償で体験をさせていただいています)これによって、PTAからの補助は6年生の分のみとなります。

本地区は、地域産業である萬古焼の中心地であり、「萬古焼」について知ったり、陶芸体験を通じて陶芸のおもしろさを感じたり、「萬古焼」に対する興味・関心を高めたりすることにつきましては今後も継続することには変わりませんので、何卒、ご理解をお願いいたします。なお、今まで11月に行っていた陶芸作品展は、図工作品展として実施いたします。

◆4年生環境教育 一三滝川の水生物や水の学習から考えました一

6月29日(金)、予定では、当日、三滝川に行き、実際に川へ入って水生生物調査を行うことになっていましたが、午後からの天気を考慮して教室での学習に変わりました。

この時間に講師として4名の方にお越しいただきました。前日、山本さんにとってきていただいた三滝川の生物を説明していただきながら観察しました。



ヤゴ、コオニヤンマ、ボラ、マハゼ、ハグロトンボ、モンキマメゲンゴロウ、ヌマエビ、スジエビ、イシマキガイ、サナエの仲間などを観察しました。コオニヤンマやイシマキガイがいるということは、三滝川はきれいな水であるとわかりました。メダカやウナギもいるそうですが、これらはとってきてはいけない魚であることを教えていただきました。

実際に川へ入ってつかまえば、もっとたくさんの種類の魚などが見つかるということでしたので、当日は本当に残念でした。しかし、今回の学習で三滝川の生き物に対して、随分興味と関心を持つことができたと思います。

観察のあとは、生きていくための大切な水について学習しました。講師は後藤さん(西橋北小の最後の校長先生)です。まず、子どもの体は70%、大人の体は60%が水でできていることで、人間は水がないと生きられないことや地球にある水の97%は塩水で、私たちが生活で使える水は、地球全体の0.01%という少なさであるということがわかりました。世界の8億近くの人々はきれいな水が使えない生活をしている中で、このような貴重な水を普通に使うことができる日本は幸せです。

では、きれいな水が汚れる原因はなにでしょう。その原因の半分は、家庭からの排水(そのうち、台所からの汚水は4割)です。しかし、汚れた川などを魚の住める水に戻すためには、かなりの水の量が必要になるそうです。牛乳は15,000倍、しょう油は30,000倍、てんぷら油は200,000倍ということでした。このこと一つをとっても、どのように食品を処理するのがいいのか、よく考えたいところです。

最後に、三滝川・ジュース・味噌汁・牛乳の4つについてCOD(化学的酸素要求量)パックテスト(よごれを分解する時に必要な酸素の量)を班で行い、三滝川の水のきれいさが確認できました。地域の川である三滝川の美しさを保つために、今までの学習を生かし、家族の中の環境リーダーになって、できることから実行してほしいものです。

